事業者・労働者の皆様へ

要注意！1月～2月は転倒災害多発！

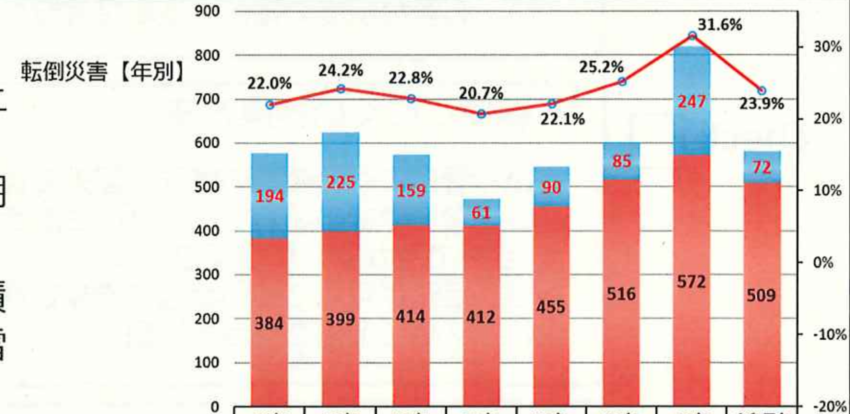
「3大原因除去で安全で安心な作業を」

Safework ゼロ災 MIYAGI

転倒災害発生状況

○　2019年（H31/ R1年）に仕事中の転倒による４日以上の休業は581人。その約6割の方は休業が１月以上の長期にわたっています。

○　宮城の転倒災害は降雪・積雪期に非常に多く発生。降雪の多かった2018年1～2月には、年間発生件数の38%（311件／819件）を占めています。



	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
風雪等環境原因による転倒	194	225	159	61	90	85	247	72
風雪等以外による転倒	384	399	414	412	455	516	572	509
合計	578	624	573	473	545	601	819	581
全災害に占める転倒災害割合	22.0%	24.2%	22.8%	20.7%	22.1%	25.2%	31.6%	23.9%

主な災害の年代別・男女別の発生状況（2019年宮城局管内）

	１０代		２０代		３０代		４０代		５０代		６０代		７０代		８０歳以上		計	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
転倒	**1**	**4**	**13**	**19**	**20**	**42**	**39**	**49**	**110**	**59**	**116**	**64**	**20**	**21**	**2**	**2**	**321**	**260**
墜落、転落	1	2	6	33	9	58	15	78	24	101	16	84	8	20		3	79	379
動作反動、無理な動作		2	23	20	30	56	41	36	40	41	24	28	6	6	1		165	189

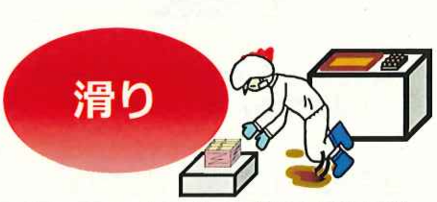
○　転倒災害については、機械によるはさまれ災害や高所からの墜落災害などに比べ、その防止のために取り組めること、工夫できることがまだありませんか？

取組状況を点検し、更なる対策をお願いします。

その他の転倒災害分析グラフ→
（宮城労働局作成PDF）

＜ 転倒災害防止の主な原因 ＞

▶転倒災害は３種類に大別されます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



滑り
- ○　路面の凍結、積雪
- ○　床への水や油の飛散
- ○　ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落下
- ○　滑りやすい素材である床

つまづき
- ○　床面の凹凸や段差
- ○　通路等に荷物や商品などが放置
- ○　自分で思ったより足が上がらない。

踏み外し
- ○　大きな荷物を抱えるなど足元が見えない状態での作業
- ○　暗い状態の階段、通路、作業場
- ○　心理的に余裕のない状態での行動

宮城労働局・労働基準監督署

＜ 転倒災害防止対策のポイント ＞

▶▶▶ 安全で安心な作業が行えるようになると、作業効率もＵＰ！！

check □

1 安全な通路等が確保されていますか？
（4Ｓ：整理・整頓・清掃・清潔の徹底）

○ こまめな除雪の実施、凍結予想箇所への凍結防止剤の散布（屋外）
○ 凍結防止機能付きマット等の敷設（屋内）
○ 床面の凹凸、段差などの解消、床面の汚れ（水、油、粉など）除去
○ 歩行場所への物の放置禁止
○ 必要な照度の確保（照明設備等の設置など）

check □

2 転倒しにくい作業方法

○ 滑りにくい履物の徹底（屋外では脱着式の滑り止め具の使用も）
○ 滑りやすい場所では、「小さな歩幅」、「少し膝を曲げ」、「足裏全体で急がず、ゆっくり」歩く
○ 足元が見えにくい状態で作業しない
○ 時間に余裕を持った行動

check □

3 その他の対策

○ 解消できない危険箇所には、「凍結転倒注意」などの掲示物による「見える化」
○ 自らの身体機能の客観的な把握と身体機能の維持向上への取組（特に高年齢労働者）

※体力チェックの一例（エイジフレンドリーガイドライン：転倒等リスク評価セルフチェック票）➡

転倒災害の防止対策のためのツール

厚生労働省HPの「職場のあんぜんサイト」や（独）労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所では、転倒災害防止のための安全活動事例（見える化事例）や映像教材など、転倒災害防止に関する各種ツールを公開しています。

それらを参考にしながら、皆さまの事業場に適している転倒災害防止対策を導入してください。

【映像教材】 滑りによる転倒災害防止 (労働安全衛生総合研究所)	【映像教材】 転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」 （職場のあんぜんサイト）	「見える」安全活動コンクール （職場のあんぜんサイト）

上記ツールは、お持ちのスマートフォンやタブレットを使って、自宅等でもご覧いただけます。新型コロナウイルス感染症対策としてのリモート研修や在宅教育として、労働者の転倒防止意識の向上のためにお役立てください！

厚生労働省と労働災害防止団体では、転倒災害を撲滅するため、「*STOP！転倒災害プロジェクト*」を推進しています。 ➡ STOP！転倒災害プロジェクト（職場のあんぜんサイト）

本リーフレットに関するお問い合わせは、宮城労働局健康安全課（TEL 022-299-8839）又は労働基準監督署へ （2020. 12）